



事前のお知らせ

特別支援学校で実際の選挙を想定した模擬投票を実施 ～自ら切り拓く！社会参加への一歩！～

と き 平成29年9月15日(金) 13時開始(15時終了予定)

と ころ 旭出学園(東大泉7-12-16)

15日、練馬区選挙管理委員会は区内にある特別支援学校 旭出学園(東大泉7丁目)と協働し、実際の選挙を想定した模擬投票を実施する。今年6月の模擬投票に続き3回目の実施。

自分の意志で候補者を選び、投票する力を身につけてもらうもの。

事前に行った学習では、生徒は、投票所内で支援を受ける方法や実際の選挙で配布された選挙公報の見方などを学んだ。

当日は、実際に使用されている記載台や投票箱も設置し、学習したことを実践することで、本番の選挙でも自分の力で投票できるように支援する。

区選管は、今後も障害者の主権者教育や投票機会の確保を支援する活動を行っていく。



▲事前学習の様子

【当日のスケジュール】

- 13時00分 各クラスで候補者選び
- 13時30分 体育館へ移動
- 13時40分 投票方法の説明
- 13時50分 投票開始
- 14時30分 投票終了
- 14時40分 開票結果、学習の振り返り
- 15時00分 終了



▲前回の模擬投票の様子

【参考】模擬投票実施の背景について

平成25年に公職選挙法が改正され、成年被後見人の選挙権が回復し、平成28年4月、障害者差別解消法が施行された。こうしたなか、障害者の投票機会を確保することが求められている。

また、昨年の参議院議員選挙から選挙年齢が18歳以上となり、高校では模擬投票など実践的な主権者教育が広がりを見せている。

区選管では、選挙資機材の貸出や運営の補助などにより、区内の特別支援学校の主権者教育を支援している。11月13日(月)には同様の主権者教育を練馬特別支援学校で実施する予定。

【参考】旭出学園(特別支援学校)について

住 所：練馬区東大泉7-12-16(電話03-3922-4134)

校長氏名：岡田 馨(担当教諭 藤江由巳)

生徒数：90名(小学:19 中学:18 高:31 専:22)

今回は専攻科(18~21歳)22名と高等部3年生13名の合計35名